

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

課題番号	STSC19002
研究開発課題名:	顔認証機能を活用した脳卒中早期発見アプリの事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	滋賀医科大学 医学部 教授 野崎 和彦

1. SCORE での活動目的

脳卒中を発症直後に発見できるデバイスを開発し、直接的に専門医と繋がる仕組みを構築して1人でも多くの患者さんを後遺症の苦しみから救い、そのために初期症状の1つである顔面麻痺を検出するアプリを開発し、普及に向けたビジネスモデルの創出を目指すことを目的とした。具体的には顔面麻痺を検出する開発済みのプロトタイプ、及びデモ動画を用いて顧客インタビューを実施し、アーリーアダプター(EA)を見つける。顧客インタビューの対象は、本学附属病院脳神経外科外来を受診した患者及び、県内の連携病院に勤務する専門医及び関連学会に参加中の救急医などである。

2. 総合所見

既往症のある患者や介護施設のニーズに応えながら技術開発を行い、病院患者や医師へのインタビューを通して今後の計画を具体的に絞り込むことにより、事業化の実現性を高めている点を高く評価する。今後は確実な収益獲得方法や、事業が大きく成長する戦略を構築し、事業化を実現することを期待する。

以上